

大泉潤さん (38)

ソニー生命新宿ライフプランナーセンター
第3支社第1営業所営業所長

若くして転職する人がいる。そこには勇気も必要になる。ちょっとした勇気で新しい未知の世界を見ることが出来る。ソニー生命の大泉潤さん(38)に聞いた。

転職から

天職へ

大泉さんは大学卒業後、証券会社に勤務していた。5年勤務して、評価でも収入面でも疑問を感じていた。組織が大きいと、何よりも自分個人ではどうしようもできない問題が大きく、将来にも疑問を感じていた。

「いつまでもサラリーマンでいるつもりか」という大学の先輩のアドバイスがあった。偶然、大学のクラブの先輩がソニー生命にいて、転職を勧められた。



トも持つようになった。将来は自分のヨットも持ちたいという夢を持つ。

自身の3年間のライフプランナー時代を「あつという間だった。努力は報われた」と振り返る。ひとつひとつが自信につながったと言う。

「努力は必ず報われる」

これは「運と行動それだけ努力してきたか」と大泉さんはライブラ、言える言葉でもあふプランナー時代を振り返る。「ソニー生命には時返って分析する。

大泉さんはとても若い時代の転職だった。「この仕事においては、若さはマイナスにはなるが、プラスになる」と、言う。仕事にスなるとは、その分フットワークでカバーする

と、言い切る。その若さ
を乗り切ったのは、自分
よりも年上の人たちと、
「無理をせずに、素直に
謙虚に」自然体で接する
ことができたからだとも
言う。
「自分を育ててくれる
営業所が大事。今でも当
時の営業所を目標にして
いる」と語る。
「ライフプランナーは
人間を成長させる」「努
力すれば必ず報われる」と、
これまででの経験から
大泉さんは言う。
「この仕事は、若くて
もちよとした勇気で転
職に踏み切れば、『こん
な世界があるんだ』とい
う世界を覗かせてくれ
る」

当時、1年間を見定めながら、行動した。「トレスは感じない。31歳
ツプクラス入りをする」のときから、趣味のボー
ワークでカバーする